



産業廃棄物処理計画実施状況報告書等提出シート

下記 1 の書類について、別添のとおり提出します。

記

| | |
|------------------------------|--|
| 1 提出書類 ＜該当を選択＞ | <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画書（PDF・書類 1部） <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画実施状況報告書（PDF・書類 1部） <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画書（PDF・書類 部） <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書（PDF・書類 部） |
| 2 提出者 | (住所) 〒660-0051 尼崎市東七松町 2-4-16 (名称・代表者氏名) 尼崎市公共下水道管理者 尼崎市公営企業管理者 塚本 英徳 |
| 3 対象事業場 ＜2と同じ場合は 同上也可＞ | (所在地) 〒661-0953 尼崎市東園田町 7-82 (名称) 北部浄化センター (事業場コード(6桁)) 939004 |
| 4 事業場データ | (業種) 3611 上水道業 ・ 3621 工業用水道業 ・ 3631 下水道処理施設維 持管理業 (フレーム：処理水量) 2,139 万 m ³ |
| 5 ご担当者 | (所属) 尼崎市公営企業局上下水道部下水浄化センター (氏名) 後藤 宏一 (電話) 06-6499-4515 (FAX) 06-6493-5650 (E-mail) ama-hokubu@city.amagasaki.hyogo.jp |
| 6 その他 | (施設の稼働状況（増設・廃止等含む）について特記すべきことがあればご記入ください。) |

(水道・下水道)

本用紙は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第11項及び第12条の2第12項で定める公表対象の様式ではありませんので、同法により公表することはありません。

ただし、別添の様式はすべて公表されますので、別添の様式中に個人情報等を記載しないようご注意ください。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 6月 26日

尼崎市長 殿



提出者
住 所
尼崎市東七松町2-4-16

氏 名 (法人にあつては名称及び代表者氏名)
尼崎市公共下水道管理者
尼崎市公営企業管理者 塚本 英徳

電話番号
06-6499-4515

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 4 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

| | |
|-------------------|-----------------------|
| 事業場の名称 | 北部浄化センター |
| 事業場の所在地 | 尼崎市東園田町7-82 |
| 事業の種類 | 3631 下水道処理施設維持管理業 |
| 産業廃棄物処理計画における計画期間 | 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで |

産業廃棄物処理計画における目標値

| 項目 | 目標値 | 項目 | 目標値 |
|--------------------------|--------------|---------------------------|--------------|
| 排出量 | 207,978.08 t | 全処理委託量 | 207,978.08 t |
| 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | 0.00 t | 優良認定処理業者への処理委託量 | 0.64 t |
| 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | 0.00 t | 再生利用業者への処理委託量 | 0.64 t |
| 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | 77.44 t | 認定熱回収業者への処理委託量 | 0.00 t |
| 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | 0.00 t | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.00 t |
| ※事務処理欄 | | | |

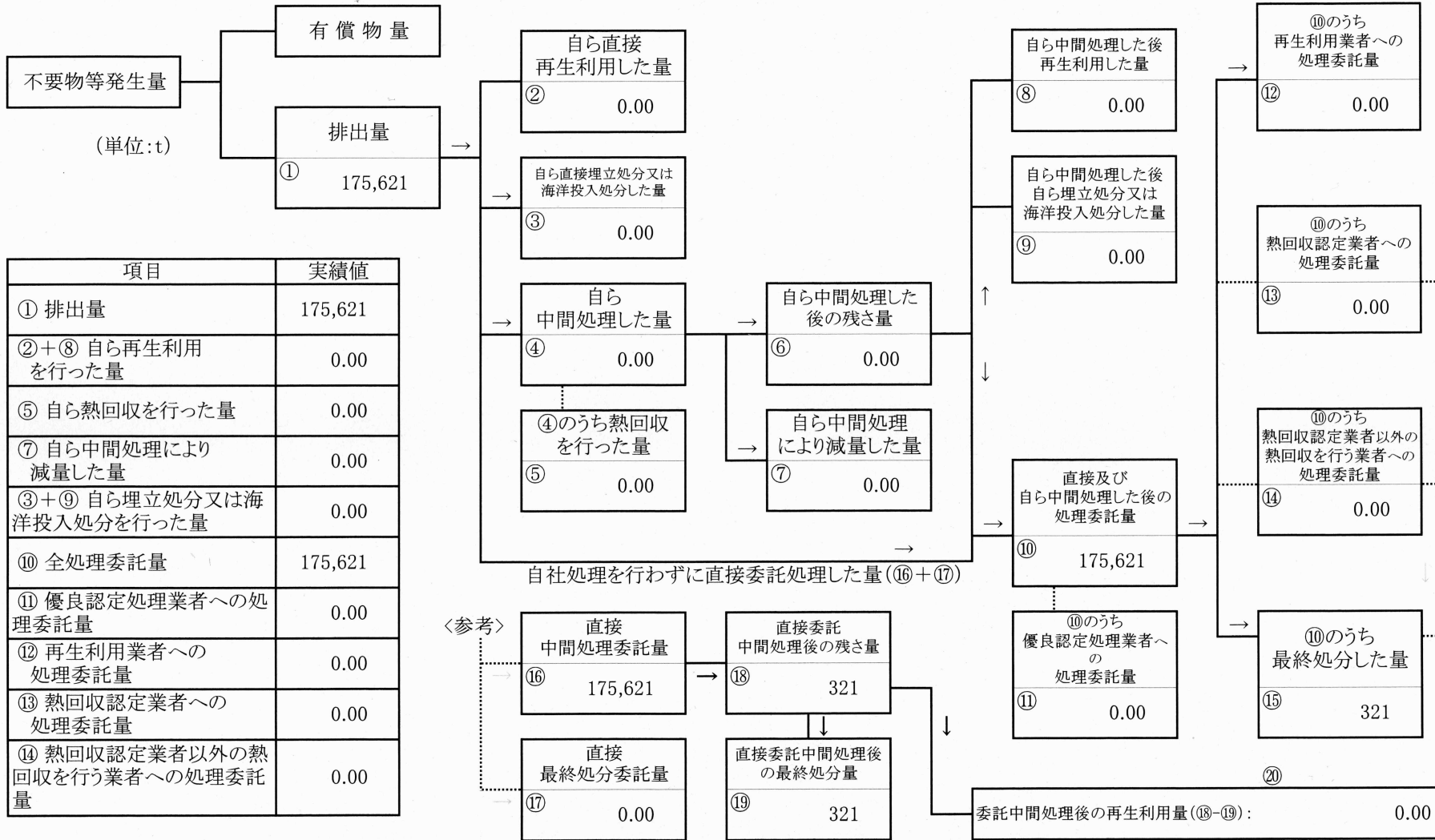
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 0211 下水汚泥)

事業者コード: 北部浄化センター

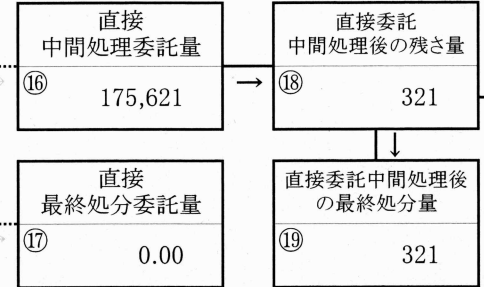
地域コード: 13(尼崎)

(事業者コード(28J)で始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。



| 項目 | 実績値 |
|-----------------------------|---------|
| ① 排出量 | 175,621 |
| ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 | 0.00 |
| ⑤ 自ら熱回収を行った量 | 0.00 |
| ⑦ 自ら中間処理により減量した量 | 0.00 |
| ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.00 |
| ⑩ 全処理委託量 | 175,621 |
| ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 0.00 |
| ⑫ 再生利用業者への処理委託量 | 0.00 |
| ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量 | 0.00 |
| ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.00 |

<参考>



計画の実施状況

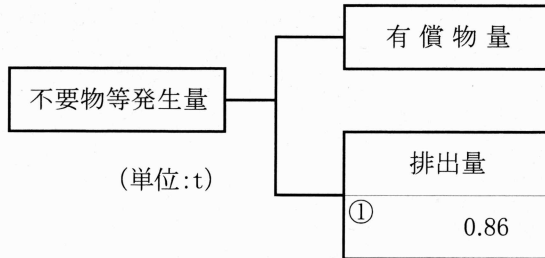
(産業廃棄物の種類: 2100 安定型混合廃棄物(以下、含まれる産業廃棄物の種類))

事業者コード: 北部浄化センター

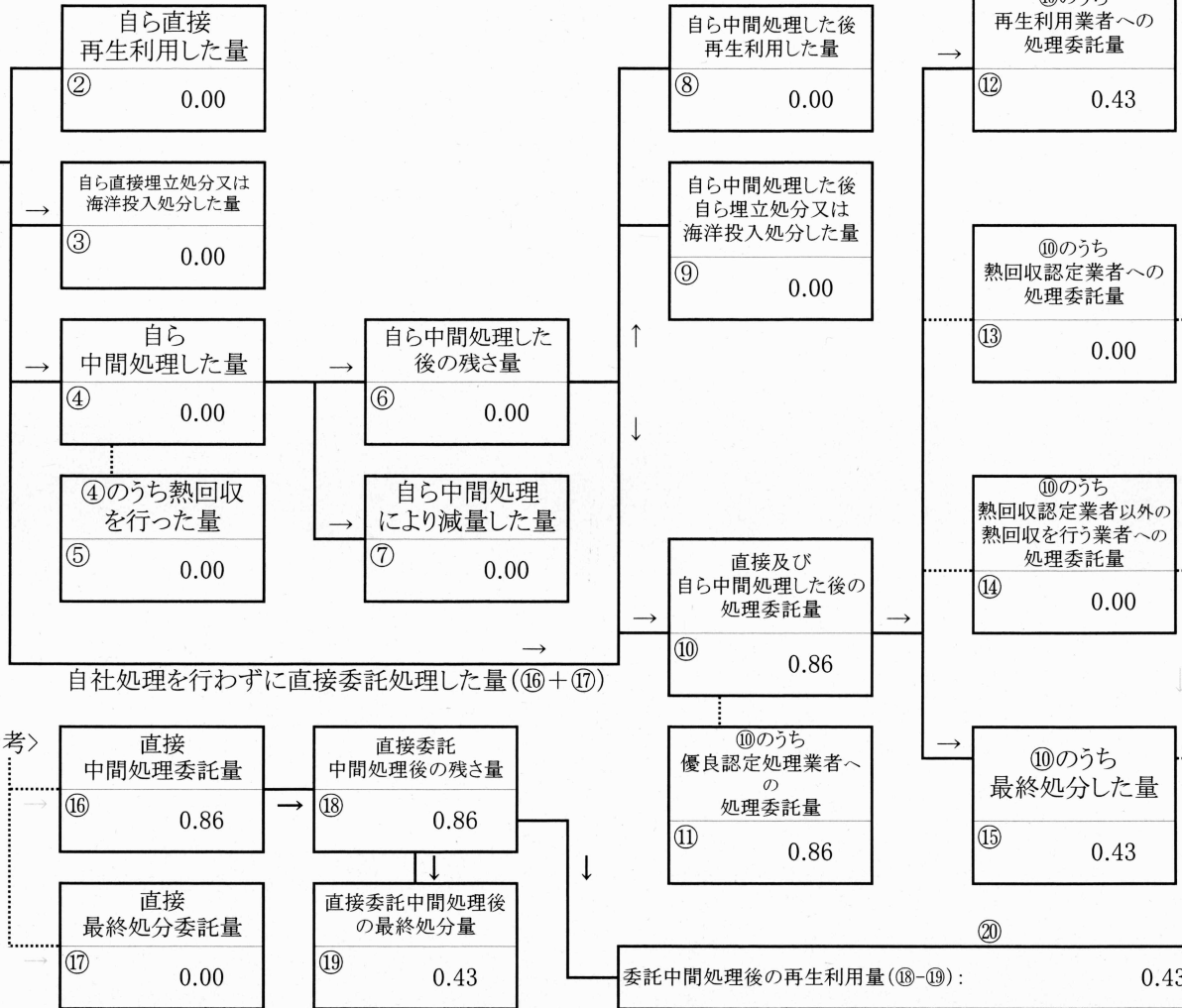
地域コード: 13(尼崎)

金属くず、廃プラスチック類

(事業者コード(28J)で始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。



| 項目 | 実績値 |
|-----------------------------|------|
| ① 排出量 | 0.86 |
| ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 | 0.00 |
| ⑤ 自ら熱回収を行った量 | 0.00 |
| ⑦ 自ら中間処理により減量した量 | 0.00 |
| ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.00 |
| ⑩ 全処理委託量 | 0.86 |
| ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 0.86 |
| ⑫ 再生利用業者への処理委託量 | 0.43 |
| ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量 | 0.00 |
| ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.00 |



<参考>

(第2面)

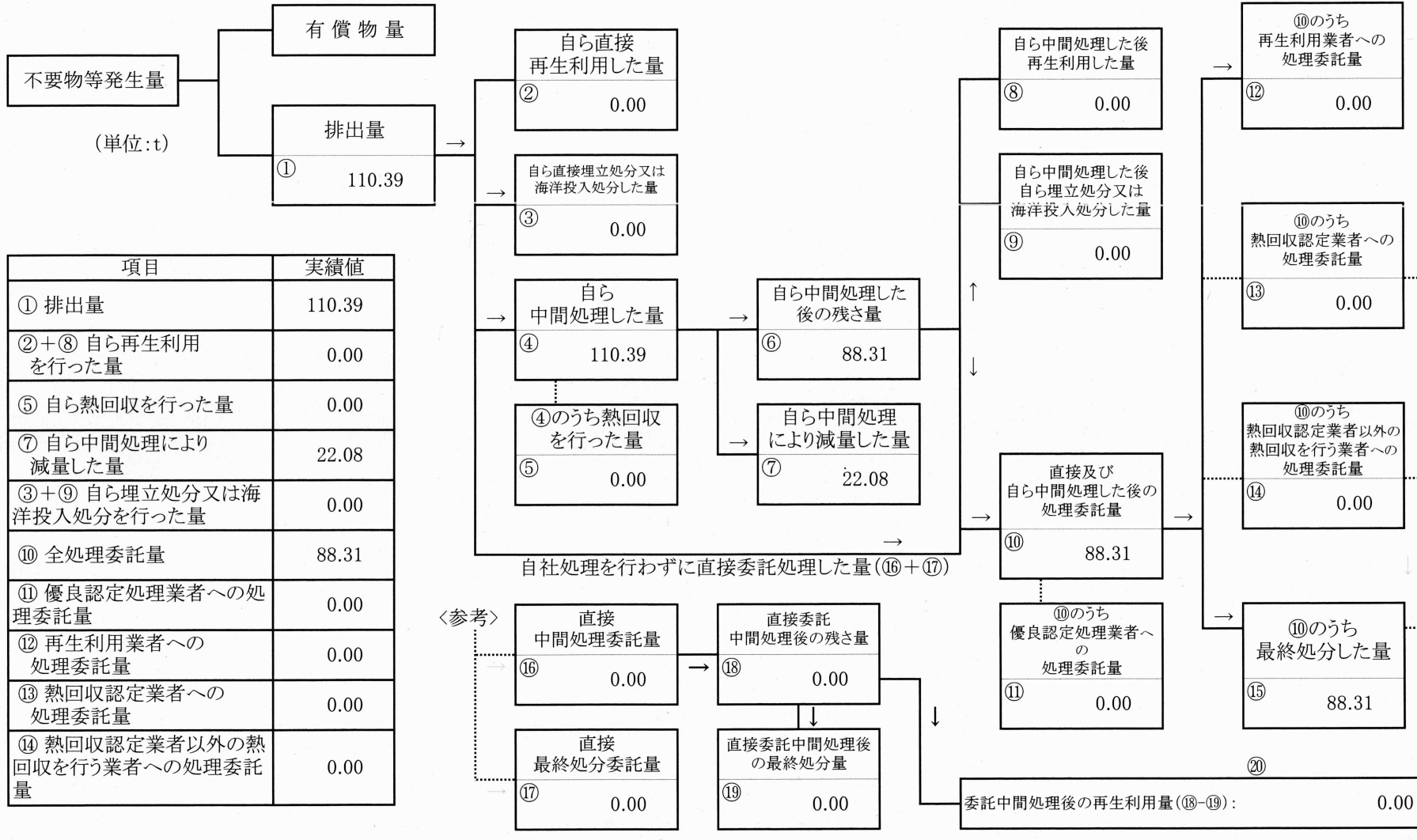
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 0200 汚泥)

事業者コード： 北部浄化センター

地域コード： 13(尼崎)

(事業者コード(28J)で始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。